



取扱説明書

210713

スマートフォン・携帯電話機自動充電機能付



ECO-303

- 3電源(手回し・乾電池・モバイルバッテリー) ●サイレン
- LEDライト ●自動・手回し携帯電話機充電
- AM/FM ●ワイドFM対応(FM補完中継局受信可)



本機はキャパシタと乾電池を切り換えるスイッチが背面にあります。

このたびは本品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

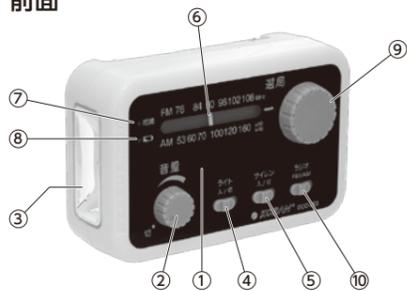
●お読みになったあとは、必要に応じてすぐに取り出せるように大切に保管してください。

保証書付

保証書に、お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをご確認ください。

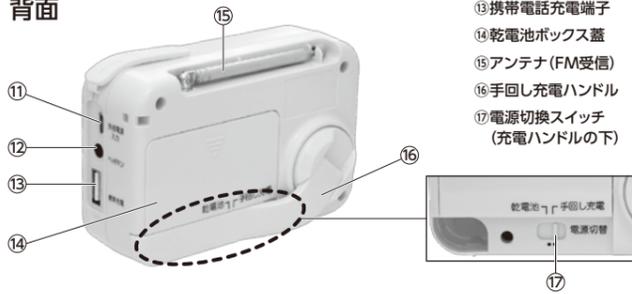
本体各部の名称

前面



- ①スピーカー
- ②切/音量つまみ
- ③LEDライト
- ④LEDライトスイッチ
- ⑤サイレンスイッチ
- ⑥ダイヤル表示
- ⑦同調表示ランプ
- ⑧電源表示ランプ
- ⑨選局つまみ
- ⑩AM/FM切換スイッチ
- ⑪外部電源入力端子
- ⑫イヤホン端子
- ⑬携帯電話充電端子
- ⑭乾電池ボックス蓋
- ⑮アンテナ(FM受信)
- ⑯手回し充電ハンドル
- ⑰電源切換スイッチ(充電ハンドルの下)

背面



付属品

本機には下記の付属品があります。お確かめください。

- ①USB A・micro USBケーブル*
- ②ストラップ
- ③micro USB→USB Type-C変換プラグ
- ④USB Type-C→A変換アダプター
- ⑤取扱説明書

*適合しない携帯電話・スマートフォンがあります。お持ちの充電ケーブルをご使用ください。



安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人自身や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しています。以下の表示・記号をよく理解してから本部をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



警告 「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。



注意 「取扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

*1:重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止 ○は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



指示 ●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



注意 △は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告



分解禁止
分解・修理・改造はしない。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整および修理は修理窓口へお問い合わせください。



禁止
温度の高い場所に置かない。窓を閉めきった自動車内や直射日光の当たる所、暖房器具の近くに置くと、火災・感電の原因になることがあります。また、破損・その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。



禁止
湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない。加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと感電や発熱・故障の原因となることがあります。



異物挿入禁止
異物を入れない。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止
極端に暑い場所、日なた、熱い地面、熱を発する機器の傍などで使用しない。発熱・故障の原因となることがあります。



水ぬれ禁止
雨天時の屋外や浴室など、水のかかる恐れのある場所に置いたり使用したりしない。火災・感電の原因となります。降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

注意



窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たるような場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。故障や火災の原因になることがあります。



点灯中のLEDライトは直視しないでください。目を傷める恐れがあります。



本体が汚れた時は、柔らかい布に水か水で薄めた中性洗剤をつけてお拭きください。



屋外での使用中は交通に十分注意してください。交通事故などの原因になります。



FMアンテナをご使用の場合、無理に傾けたり折れたり曲がったりして収納できなくなる等、故障の原因になります。



屋外での使用中、雷が発生したら直ちにアンテナをたたんで使用を中止してください。



乾電池を取り扱うときは、つぎのことを守る

- 指定以外の電池は使用しない ●極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない ●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
- 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
- 長時間使用したときは、本体から乾電池を取り出す ●水にぬらしたり、ぬれた手を触れない

発熱・液もれ・破裂などにより、やけどけがの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

主な特徴

緊急時や携帯用として役立ちます。

- ハンドルをまわして発電して内蔵のキャパシタに充電してつかえます。
- *内蔵のキャパシタは交換できません。
- アルカリ乾電池単3形(2本)を入れてつかえます。
 - ・ラジオAM、FMの2バンド受信できます。
 - ・「緊急時の携帯電話への充電」が可能です。(機種限定あり)
 - ・非常事態を周囲に知らせる「サイレン」つき。
 - ・暗いところでも「ライト」で明るく照明。
 - ・「イヤホン」がつかえます。(別売)

ご利用方法

■製品は出荷時にはフル充電されておりません。お使いになる前に充電してください。

1

電源(充電してつかう)

⑰電源切換スイッチを手回し充電側にする。



左右回転どちらでも充電できます。

●ハンドルをまわして、本体内部のキャパシタに充電してラジオを聞くことができます。

- (1)充電用のハンドルを引き起こします。
 - (2)ハンドルをまわして充電します。
 - ・ハンドルは左右どちらでもまわせます。
 - ・1分間に150回～180回(※)ハンドルを回してください。又、回していると極端に軽くなる時がありますが、引き続き予定の回数まで回してください。(※)：キャパシタの蓄電状況で変わります。1分程度で満充電になります。
- (ご注意) ○切/音量つまみは「切」にしてください。
- ライトスイッチは「切」にしてください。
 - サイレンスイッチは「切」にしてください。
 - ⑰携帯電話充電端子にコネクタ、ケーブル、変換アダプターが接続されている場合は全て外してください。

ご注意

- ・手回しの回転が遅いと所定の充電(蓄電)量が得られないことがあります。
- ・手回し回転は、180回/分を大きく超えて速く回さないでください。キャパシタの故障の原因になります。

ご注意

- 充電は0～40℃の温度範囲で行ってください。この温度範囲(0～40℃)以外ではキャパシタの寿命や性能を低下させることがあります。
- 本体を直射日光の強い所や、炎天下の車内やストーブの近くなど高温の場所で使用・放置しないでください。キャパシタの寿命や性能を低下させることがあります。

主な仕様

ラジオ受信周波数	AM：530～1600KHz FM：76～108MHz(ワイドFM対応)
ラジオアンテナ	AM：フェライトバーアンテナ(内蔵) FM：ロッドアンテナ
スピーカー/音声出力	直径：32mm/60mW(最大100mW)
ライト	直径5mm白色LEDランプ×3個
サイレン	出力音圧：75dB/m
電源	内蔵蓄電器：キャパシタ3V 20F 乾電池：アルカリ乾電池単3形×2本(別売り)
外形寸法	幅107mm×高さ69mm×奥行50mm
質量	約208g(充電ケーブル、乾電池含まず)

※RoHS対応：特定有害物質の使用制限に関するEUの指令(RoHS指令)に準拠し、地球環境と使用者の安全に配慮しています。

※デザイン、仕様等は改良のため予告なしに変更する場合があります。

※一部の機種種など、充電に対応していないスマートフォンがございます。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

株式会社 太知ホールディングス
TAICHI HOLDINGS LIMITED

〒110-0005 東京都台東区上野3-2-4 秋葉原 村上ビル3階 TEL.03-5846-7211 FAX.03-5846-6639
https://www.anabas.co.jp

2 電源(乾電池でつかう)

①電源切換スイッチを乾電池側にする。

別売のアルカリ乾電池単3形2本をつかいます。

- 電池ふたを下に引いてあけます。
- 同じ種類の乾電池を⊕と⊖の向きを間違えないように正しく入れます。乾電池が消耗してくると、音が小さくなったりひずんだりします。そのときには2本とも新しい乾電池に交換してください。

ご注意

- 乾電池の極性(⊕・⊖)は間違いの無いように入れてください。極性(⊕・⊖)を間違えると乾電池の液漏れなどで思わぬ不具合が発生することがあります。正しい方向に挿入しないと使用できません。
- 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り外してください。
- ニッケル・水素充電電池が使用できます。
- 初期電圧の高い(約1.7V)乾電池は誤作動する恐れがあるため、使用しないでください。

3 モバイルバッテリー／ACアダプターを接続する

- 本体の防水キャップを外し、付属USB A・micro USBケーブルのmicro USBプラグを①外部電源入力端子に接続してください。
- 付属USB A・micro USBケーブルのAプラグをモバイルバッテリーまたはACアダプターに接続してください。

ご注意

- モバイルバッテリーおよびACアダプターは付属しておりません。
- モバイルバッテリーは、5V/2.0A以上、容量5000mAh以上を推奨します。
- ACアダプターは、5V/2.0A以上を推奨します。
- 接続中にラジオに雑音が入る場合があります。ノイズの影響を受けにくいFMラジオのご使用をお勧めします。
- モバイルバッテリーまたはACアダプターを接続するために、防水キャップを外している時は、防じん・防水機能(IP54相当)が保てません。水漏れに注意してください。

4 電源(手回し充電・乾電池)の持続時間(目安)

		1分間150回～180回で1分間手回し充電した場合		乾電池の場合	
スマートフォン	約 1分	連続通話時間	約 25分	連続通話時間	約 25分
	約 30分	連続待ち受け時間	約 12時間	連続待ち受け時間	約 12時間
ラジオ	FM	約 30分	スピーカー(1mW出力時)	約 120時間	(JEITA)規格 ※
	AM	約 40分		約 160時間	
ライト	約 25分	点灯時間	約 65時間	点灯時間	約 65時間
サイレン	約 5分	—	約 35時間	—	—
携帯電話	約 1分	連続通話時間	約 25分	連続通話時間	約 25分
	約 30分	連続待ち受け時間	約 12時間	連続待ち受け時間	約 12時間

※(社)電子情報技術産業協会の定める(JEITA)規格による測定条件

スマートフォン・携帯電話に関する数値は目安です。電話の種類や電池の残量等で異なります。全ての機種に適用するものではありません。

5 ラジオを聞くには

電源表示ランプ
同調表示ランプ
選局つまみ



切/音量つまみ



電源切換スイッチ

- 電源切換スイッチを「手回し充電」または「乾電池」に合わせて使用する電源を選びます。
 - 切/音量つまみを右に回してスイッチを入れます。
 - 本体の「ライト」、「サイレン」を「切」にします。
 - 選局つまみを回して聞きたい放送局を選びます。
- ※放送を受信すると同調表示ランプが点灯します。(電波の弱い所や手回し充電の容量が低下している場合、点灯しない場合があります)
- 切/音量つまみを回して音量を調整します。
 - 電源を切る場合は切/音量つまみを左に回して「切」にします。

(受信状態)

- AM放送
 - アンテナを本体に内蔵しています。受信状態が良くなる方へ本体の向きを変えてください。
- FM放送
 - アンテナをまわすときには根元の部分を持って行ってください。無理にまわしたり力をかけると破損することがあります。
- イヤホンで聞く ※イヤホンは付属されておりません。使用時はプラグ：φ3.5mmを別途お買い求めください。
- イヤホンを②イヤホン端子につなぎます。イヤホンをつなぐとスピーカーから音は出なくなります。
- イヤホンはモノラル・ステレオいずれも使用できます。(音声はモノラルです)

ご注意

- FM放送を聞く場合は、アンテナをいっぱい伸ばし、よく聞こえる方向に調節してください。
- 携帯電話充電中はラジオに雑音が入りますのでお聞きにはなりません。
- ラジオ使用時にライトを点灯するとノイズが入ることがあります。
- 満充電または乾電池容量が十分にあるときは電源表示ランプが点灯します。電池容量が少なくなると、完全になくなると消灯します。消灯したときは、使用電源に合わせてハンドルを回して充電するか、新しい電池と交換してください。
- 防災無線を聞くことはできませんのでご注意ください。

電波の弱い場所(放送局から遠く離れている所。山間部、ビルの谷間、鉄筋ビル等で窓から離れた場所等)では受信できなかつたり、聞き取り難い場合があります。

6 サイレンをつかうには



サイレンスイッチ

- サイレンスイッチを「入」にすると、サイレンが鳴ります。

参考：1分間(150回～180回まわす)の充電で約5分間サイレンが鳴ります。

7 LEDライトをつかうには



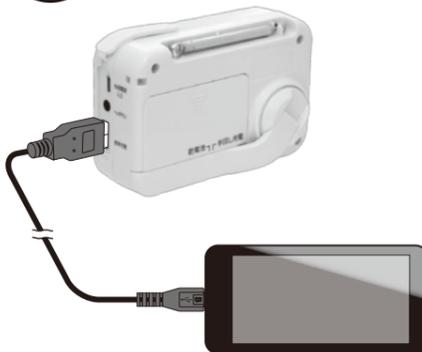
ライトスイッチ

- ライトスイッチを「入」にすると、ライトが点灯します。

参考：1分間(150回～180回まわす)の充電で約25分間一定の明るさで点灯します。ライトは高輝度白色LEDを使用しています。

8 スマートフォン・携帯電話機への充電方法

スマートフォン・携帯電話機への緊急充電を要する場合の充電方法



乾電池を利用してスマートフォン・携帯電話機へ自動充電する。

- スマートフォン・携帯電話の電源を切ります。
- 本体の電源、ラジオ、ライト、サイレンを「切」にします。
- 電源切換スイッチを「乾電池」側にします。
- ご使用のスマートフォン・携帯電話機の機種に合った携帯電話接続プラグを選び、付属のUSB A・micro USBケーブルと接続します。接続端子は表・裏の形状が異なります。正しい方向で確実に差し込んでください。
- USB A・micro USBケーブルの一方を本機の③携帯電話充電端子に差し込み、もう一方の携帯電話接続プラグを、ご使用のスマートフォン・携帯電話機の外部電源接続端子に差し込みます。
- スマートフォン・携帯電話機へ自動充電を開始します。(このとき、スマートフォン・携帯電話機の充電表示ランプを確認してください)

●乾電池でスマートフォン・携帯電話機をフル充電することはできません。

ご注意

- 携帯電話側の充電表示が点灯していても60分間を越えている場合、殆ど充電されないことがありますので、新しい乾電池でも60分間を目処に充電を止めてください。
- 充電後、電池が熱くなることがありますので充電終了後すぐに電池を取り出さないでください。
- スマートフォン/携帯に充電した後は、③携帯電話充電端子に挿入したUSBケーブルは必ず抜いてください。

手回し充電(蓄電)でスマートフォン・携帯電話機へ充電する。

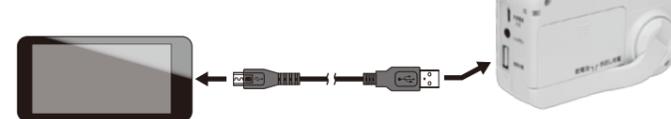
- スマートフォン・携帯電話の電源を切ります。
- 本体の電源、ラジオ、ライト、サイレンを「切」にします。
- 電源切換スイッチを「手回し充電」側にします。
- ご使用のスマートフォン・携帯電話機の機種に合った携帯電話接続プラグを選び、付属のUSB A・micro USBケーブルと接続します。接続端子は表・裏の形状が異なります。正しい方向で確実に差し込んでください。
- USB A・micro USBケーブルの一方を本機の③携帯電話充電端子に差し込み、もう一方の携帯電話接続プラグを、ご使用のスマートフォン・携帯電話機の外部電源接続端子に差し込みます。
- 1分間(150～180回まわす)の充電で連続通話約1分、連続待ち受け約30分ご使用になれます。

ご注意

- 完全に放電しきった携帯電話への充電はできません。
- 充電時に手回し充電ハンドルは1分間に150～180回(約3回/秒)の速さで回さないで充電不足になりますのでご注意ください。
- スマートフォン/携帯に充電した後は、③携帯電話充電端子に挿入したUSBケーブルは必ず抜いてください。

携帯電話適合機種

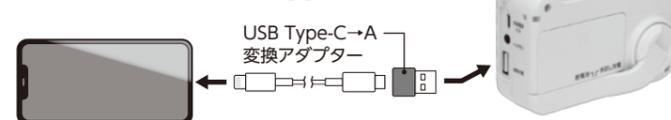
スマートフォンの充電口がmicro USBの場合



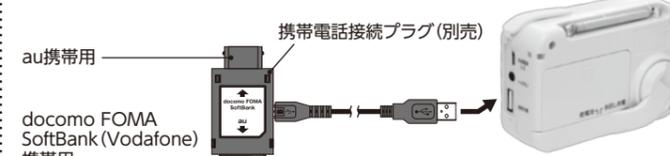
スマートフォンの充電口がUSB Type-Cの場合



スマートフォン付属のUSBケーブルの充電プラグがUSB Type-Cの場合



携帯電話の場合



ご注意

- 誤配線になり、製品やスマートフォンの故障の原因となりますので、このようにmicro USB→USB Type-C変換プラグとUSB Type-C→A変換アダプターを繋がないでください。

- スマートフォンは必ず電源を切ってください。
- micro USBまたはUSB Type-C端子以外のスマートフォンをお使いの場合は、それぞれのスマートフォンに合ったケーブルをお使いください。

※上記の機種でも新製品など適合しない場合があります。 ※携帯電話接続プラグは付属しておりません。ご使用の際は別途お求めください。 ※一部の携帯電話機(ノキアなど)は使用できない場合があります。

ご注意

- ご使用のスマートフォン・携帯電話機に登録されてある各種メモリーは、必ず控えを取ってから本機での充電を行ってください。万一、本機での充電に際し、スマートフォン本体やメモリーが破損、消失しても当社では、一切の責任を負いかねますので、予めご承知おきください。
- 本機の①外部電源入力端子、③携帯電話充電端子および、ご使用のスマートフォン・携帯電話機の外部電源接続端子などの差し込み部分にホコリなどが付着していると、ショートなどの思わぬ事故の原因になることがありますので取り除いてから接続してください。